
第1編
安曇野市の教育

【沿革】安曇野市教育委員会及び園・学校に関する主な出来事

平成17年度（2005年度）

- 10月 安曇野市発足。教育委員会事務局を明科総合支所内に置き業務を開始
- 10月 学校教育課、社会教育課、豊科・穂高・三郷・堀金・明科教育課の7課でスタート
- 12月 堀金小学校新校舎が完成、開校120周年記念誌発行
- 1月 穂高西部児童館が完成
- 1月 豊科南小学校大規模改造工事が完了
- 2月 穂高西小学校増築工事が完了
- 3月 明南小学校・明科中学校共用プールが完成

平成18年度（2006年度）

- 4月 フッ化物洗口が市内全保育園、幼稚園で始まる
- 7月 東京藝術大学音楽学部と中学校吹奏楽部との交流事業実施（H17年に穂高町で始まる）
- 10月 穂高西小学校で開校20周年記念式典を開催
- 1月 成人式を市内全体で初開催
- 3月 黒沢洞合自然公園が完成

平成19年度（2007年度）

- 6月 明北小学校プール、豊科南小学校プールが完成
- 7月 中部学校給食センター、南部学校給食センターが完成

平成20年度（2008年度）

- 4月 学校給食課、文化課を新設。豊科・穂高・三郷・堀金・明科教育課を廃止
- 4月 三郷児童館が完成
- 5月 市内全小学校で放課後子ども教室（わいわいランド）が始まる
- 7月 堀金保育園が完成

平成21年度（2009年度）

- 4月 コミュニティスクールの先駆けとなる学校支援地域本部事業が始まる
- 5月 有明あおぞら保育園が完成
- 9月 穂高交流学习センター「みらい」が完成
- 9月 有明の森保育園が完成
- 3月 明科北保育園が完成

平成22年度（2010年度）

- 6月 観世流能楽師・青木道喜さんによる市内小中学校「能楽教室」開催が10年目となる（H13年明科町で始まる）
- 7月 明南小学校で開校50周年記念式典を開催
- 7月 福岡県東区との青少年交流が20周年
- 7月 田淵行男記念館開館20周年事業として第3回田淵行男賞写真作品公募を実施（以後R6年度までに3回）
- 11月 明北小学校で開校50周年記念式典を開催
- 11月 穂高東中学校、穂高西中学校で開校10周年記念式典を開催
- 1月 豊科南部保育園の新園舎が完成
- 2月 豊科交流学习センター「きぼう」が完成（熊井啓記念館を併設、熊井啓監督作品上映会を開始）
- 3月 堀金児童館が開館（旧堀金保育園舎を活用）

平成23年度（2011年度）

- 6月 小学生の放課後学習室が始まる
- 10月 豊科東小学校で開校30周年記念式典を開催
- 1月 安曇野検定（一般の部・ジュニアの部）を実施（H29年度まで）
- 2月 北部学校給食センターが完成

平成24年度（2012年度）

- 4月 子ども発達支援相談室を開所
- 8月 市内全中学校代表生徒を派遣する広島平和記念式典参加事業が始まる

- 9月 第1回そば猪口アート公募展を開催（以後、R3年度まで10回開催）
- 10月 豊科郷土博物館などで「安曇野のお祭り展Ⅰ～オフネがつなぐ地域の輪～」を開催
- 12月 教育委員会事務局が旧明科公民館へ移転
- 12月 児童生徒の意見も取り入れ安曇野市「平和都市宣言」を制定
- 1月 「昔の暮らし体験教室」（合併前より開催）を豊科郷土博物館出前講座として市内全小学校で実施（以後継続）
- 1月 北穂高保育園改築工事が完了
- 2月 安曇野ミュージアム活性化事業の一環として「あづみの学校ミュージアム」が始まる

平成25年度（2013年度）

- 4月 早春賦誕生100周年を迎え各種イベントを開催
- 5月 清澤冽「暗黒日記」の原本が寄贈される
- 5月 「めえめえ児山^{こやぎ}羊」の作者者・藤森秀夫を顕彰する童謡祭りが50周年を迎える
- 5月 図書館Web予約サービス開始
- 6月 県民豊科運動公園拡張整備工事が完了
- 7月 中学校で放課後英語授業、立志塾が始まる
- 8月 第1回「中学生議会」開催（まちづくり推進課担当）
- 9月 豊科郷土博物館などで「安曇野のお祭り展Ⅱ～よろず願いごと引き受けますー道祖神～」を開催
- 9月 豊科近代美術館増築工事が完了
- 10月 学校給食に「中村屋カレー」が登場
- 12月 穂高東中学校大規模改造工事が完了
- 3月 豊科郷土博物館改修工事が完了
- 3月 『安曇野風土記』刊行始まる（以後R3年度まで4巻刊行）

平成26年度（2014年度）

- 4月 生涯学習課、図書館交流課を新設。社会教育課、学校給食課を廃止
- 4月 安曇野市スクールサポート事業が始まる
- 4月 安曇野高橋節郎記念美術館・豊科近代美術館で「生誕百年高橋節郎展」を開催（以後、豊田市、長野市へ巡回）
- 6月 高家スポーツ広場が完成
- 7月 三郷南部保育園移転新築工事が完了
- 10月 豊科南中学校、豊科北中学校で開校30周年記念式典開催
- 11月 『楽しく学ぼう！安曇野の郷科書～安曇野検定公式テキスト～』発刊
- 12月 フッ化物洗口が市内全小中学校で始まる
- 3月 中学生海外ホームステイ（オーストラリア）派遣事業が始まる（H30年度まで）
- 3月 穂高会館改修工事が完了

平成27年度（2015年度）

- 4月 市内初の「総合教育会議」を開催、安曇野市教育大綱（第一次）を策定
- 4月 市内小中学校の学校給食費の徴収方法を統一化
- 5月 安曇野市役所本庁舎開庁に伴い、教育委員会事務局が本庁舎へ移転
- 10月 市制施行10周年記念1/2成人式を開催（市内小学4年生が安曇野市歌を歌い講演会を聴く）
- 11月 「新市立博物館構想」を策定

平成28年度（2016年度）

- 4月 教育支援センター「けやき」豊科公民館内に開設
- 6月 中学生の放課後学習室が始まる
- 7月 豊科郷土博物館・新市立博物館準備室「出前展示（コンパクト展示）」始まる
- 8月 豊科公民館ホールで初の信州安曇野能楽鑑賞会「安曇野能」を開催
- 9月 入学準備金貸付制度を創設
- 9月 中学生議会が教育委員会事務局担当となる（R5年度まで）
- 10月 1/2成人式記念「人権・平和特別授業～kizuki～」を開催（R2年度まで）
- 10月 穂高西小学校で開校30周年記念式典・堀金小学校で開校70周年記念講演会を開催
- 11月 拾ヶ堰が世界かんがい施設遺産に登録

11月 穂高南小学校で開校50周年記念式典を開催

3月 安曇平のお船祭りが国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財となる

平成29年度（2017年度）

4月 教育委員会事務局体制が新教育委員会体制に移行

4月 市の目指す子ども像として「からだを動かし・頭で考え・心で感ずる（臼井吉見の言葉）たくましい安曇野の子ども」を掲げステッカーを考案

4月 安曇野市コミュニティスクール（ACS）がスタート

7月 拾ヶ堰世界かんがい施設遺産登録記念式典で豊科南小学校児童が式典宣言を発表

9月 市内全中学校への電子黒板整備が完了し使用を開始

9月 クモ類研究者・千國安之輔さんご遺族からの寄付金をもとに「ちくに生きものみらい基金」を創設

12月 三郷交流学習センター「ゆりのき」が完成

2月 市内の伝説10篇を収録した『つなぐー安曇野の伝説』を出版

平成30年度（2018年度）

4月 市内に居住し特別支援学校に在籍する児童生徒に副次的な籍（副学籍）を置く制度が始まる

4月 小学校の教科「英語」導入に伴い“English day”を始める

4月 「ちくに生きものみらい基金」による自然観察会、美術館・博物館スクールプログラムが始まる

7月 「不登校児童生徒が民間施設等で相談・指導を受ける際のガイドライン」策定

7月 豊科南小学校で開校50周年記念イベントを開催

10月 安曇野の自然や歴史、文化などを知るための講座「安曇野アカデミー」がスタート

10月 安曇野市文書館が開館

11月 安曇野市図書館キャラクターの名称が「ぼぼん」に決定

3月 国重要文化財・曾根原家住宅保存修理事業が完了

3月 貞享義民記念館が『貞享騒動をたずねて』を刊行

平成31年度～令和元年度（2019年度）

4月 図書館交流課を廃止し、3課体制となる

8月 キャリア教育の一環として小学生夏休み企業見学を実施（R1年度まで）

11月 穂高北小学校、三郷小学校で開校50周年記念式典を開催

12月 活力ある学校づくりのあり方検討が始まる

1月 小中学校の普通教室にエアコン設置が完了

2月 豊科南小学校が第20回環境美化教育優良校等表彰で最優秀校・環境大臣賞を受賞

3月 新型コロナウイルス感染症拡大により、国の要請で市内全小中学校の一斉臨時休業を実施

3月 「不登校児童生徒が民間施設等で相談・指導を受ける際のガイドライン」一部改正をする

令和2年度（2020年度）

4月 目指す子ども像のステッカーのデザインを改訂

4月 再び臨時休業を実施（9日～5月20日）

5月 分散登校を経て（11日～20日）通常登校再開（21日～）

6月 わさびコロック新キャラクター決定（3年ごとに募集）

7月 安曇野市誌編さん事業が始まる（民俗編から）

8月 「満願寺の古文書」を市有形文化財に指定

9月 交通事故^{ゼロ}プロジェクトが始まる

11月 電子黒板が小学校全クラスに常設となる

2月 1/2成人記念「人権・平和特別授業～kizuki～」の代替として人権学習リーフレット「おもいやり」を作成

2月 『安曇野ミュージアム活性化事業10年のあゆみ』を刊行

3月 穂高東中学校、穂高西中学校が開校20周年記念誌を発刊

令和3年度（2021年度）

4月 「拾ヶ堰絵図」が発見される

4月 東京2020オリンピック聖火リレーが安曇野市を通過、小中学生も沿道応援に参加する

4月 「お弁当の日」を全小中学校が導入し本格的に実施

- 10月 豊科北小学校で開校50周年記念式典を1年遅れで開催
- 10月 安曇野市総合体育館（ANCアリーナ）完成
- 5月 国のGIGAスクール構想による1人1台端末の配備が完了
- 7月 あづみの新進音楽家公開オーディション（ジュニアの部を含む）が10周年を迎える
- 9月 市営穂高プールが33年の歴史に幕を閉じる
- 1月 豊科南小学校がユネスコスクール・キャンディデート校に認定される
- 2月 臼井吉見文学館が開館30周年を迎え記念誌『邂逅』を出版
- 3月 「安曇野のオオルリシジミ」を市天然記念物に指定
- 3月 穂高北部児童館が完成
- 3月 「安曇野市立小・中学校の将来構想」を策定する

令和4年度（2022年度）

- 4月 学校給食課、子ども家庭支援課、こども園幼稚園課を新設し、6課体制となる
- 4月 市の目指す子ども像を「未来を拓くたくましい安曇野の子ども」に改訂しステッカーのデザインを刷新
- 4月 市内17小中学校が学校運営協議会による国型コミュニティ・スクールに移行
- 4月 学校給食費会計が公会計に移行
- 4月 明科北こども園の指定管理による運営が始まる
- 4月 有明あおぞら認定こども園で「園庭ミニ田んぼ」を整備し米づくりの活動が始まる
- 4月 第8回日展巡回展「安曇野展」を豊科近代美術館で開催、市内全中学校2年生が鑑賞
- 4月 文書館が市内中学校での出前講座を始める
- 7月 東京藝術大学連携事業「安曇野AIR（アーティスト・イン・レジデンス）」が始まる
- 9月 被爆ピアノ平和祈念コンサートを開催（R6年度までに市内全中学校で実施）
- 1月 成人式の名称を変更して「二十歳の集い」として初開催
- 1月 友好都市との青少年交流事業が3年ぶりに再開

令和5年度（2023年度）

- 5月 京都芸術大学と連携したアートプロジェクトが始まる
- 4月 第3次「安曇野市教育大綱」が始まる
- 7月 三郷西部認定こども園新園舎完成
- 7月 広島平和記念式典参加事業に松本大学平和創造研究会の学生が加わる
- 8月 信州安曇野薪能を8年ぶりに明科龍門湊公園で開催
- 10月 安曇野アカデミーで臼井吉見の小説「安曇野」をテーマに5回講座を開催
- 1月 県教育委員会主催第1回安曇野総合技術新校（仮称）再編実施計画懇話会開催
- 3月 認定こども園・幼稚園の園庭芝生化へ向け三郷西部認定こども園で芝の種まきを実施
- 3月 安曇野の歴史文化遺産再発見事業実行委員会編の「宝シリーズ」（全5巻）刊行完了

令和6年度（2024年度）

- 4月 第41回早春賦まつりに市内小学校合唱部が参加
- 5月 第20回あづみの公園早春賦音楽祭に市内小中学生が参加
- 6月 「清澤淵文庫」を市有形文化財に指定
- 7月 第1回安曇野市教育振興基本計画策定検討委員会を開催
- 7月 第1回安曇野市こども計画検討会議を開催
- 7月 ワークショップ「安曇野市子ども若者意見ひろば」を開催

【第3次】安曇野市教育大綱

期間：令和5年4月1日～令和10年3月31日

基本理念

＊からだを動かし、頭で考え、心に感ずる“未来を拓くたくましい安曇野の子ども”を育みます。

＊すべての人が生涯を通じて学び合い、文化・芸術のかおり高い安曇野を目指します。

※「からだを動かし、頭で考え、心に感ずる」は、安曇野市堀金出身の文芸評論家・作家・教育者の白井吉見さん(1905-1987)の講演「中学生諸君に望む」(1967)から

基本方針

1 子どもを育む環境の充実と共生社会の実現

安曇野の自然や地域の中で、体験・交流活動を充実させ、安心して子育てができる環境を整えます。また、一人ひとりの個性を認め合う共生社会の実現を目指し、すべての子どもの権利を尊重します。

2 学校教育の充実

協働的・探究的な学びを通じて特色と魅力ある学校づくりを推進し、郷土への愛着と誇りを持ち、自ら考え、判断し、行動する児童生徒を育みます。併せて、学び続ける教職員を支援します。

3 家庭・地域との連携の推進

学校と家庭、地域が連携・協働する体制の一層の充実を図り、豊かな人間性と社会性を育む学びを地域ぐるみで支えます。

4 生涯を通じた学びの創出

多様化する学びの要望に応え、情報や人と人との出会う環境を整えます。また、さまざまな人々が集い交流し、生涯にわたって自分らしく自ら学習活動に参加できる地域社会をつくれます。

5 スポーツを楽しむ環境の充実

幼児期からの成長の土台づくりと体力の向上に取り組めます。また、幅広い世代のニーズに合わせ、スポーツに親しみ、スポーツを楽しむ環境を充実させます。

6 文化・芸術活動の推進と歴史・文化遺産の継承

伝統文化や遺産に親しみ、それを継承し、新たな文化・芸術活動の創造や交流を推進するとともに、安曇野らしい文化・芸術の更なる振興を図ります。

1 市理事者

(令和6年4月1日現在)

役職名	氏 名	任期
市長	太田 寛	令和 3年10月23日 ～ 令和7年10月22日
副市長	中山 栄樹	令和 4年 1月 1日 ～ 令和7年12月31日
教育長	橋渡 勝也	令和 5年 4月 1日 ～ 令和8年 3月31日

2 教育委員

(令和6年4月1日現在)

役職名	氏 名	教育委員任期
教育長職務代理者	遠藤 正志	令和 5年 4月 1日 ～ 令和7年11月 8日
委員	二村 美智子	令和 2年11月 9日 ～ 令和6年11月 8日
委員	羽田野 賢二	令和 3年11月 9日 ～ 令和7年11月 8日
委員	川北 久美	令和 5年11月 9日 ～ 令和9年11月 8日

3 安曇野市議会福祉教育委員会

(令和6年4月1日現在)

役職名	氏 名		
委員長	増田 望三郎		
副委員長	岡村 典明		
委員	矢澤 毅彦	橋本 裕二	臼井 泰彦
	中村 今朝子	平林 明	

解説1 “たくましい安曇野の子ども” ステッカー (リニューアル版)

安曇野市教育委員会は平成29年度より“たくましい安曇野の子ども”の育成を目指すことを表明し、ステッカーを作成しました。

令和4年4月1日からは、めざす子ども像を「未来を拓くたくましい安曇野の子ども」と改めました。さらに、小・中学校に加え、こども園・幼稚園を所管することになったことを受け、園児・小学生・中学生を、北アルプスの高山に生息する希少鳥類ライチョウに見立てて、安曇野市の宝である子どもたちが健やかに成長してほしいという願いを込め、デザインを一新しました。

なお、「からだを動かし、頭で考え、心に感ずる」は、安曇野が生んだ評論家・作家で教育者でもあった臼井吉見さん(1905-1987)が、中学生に向けて行った講演「中学生諸君に望む」(1967)の中で語った言葉です。

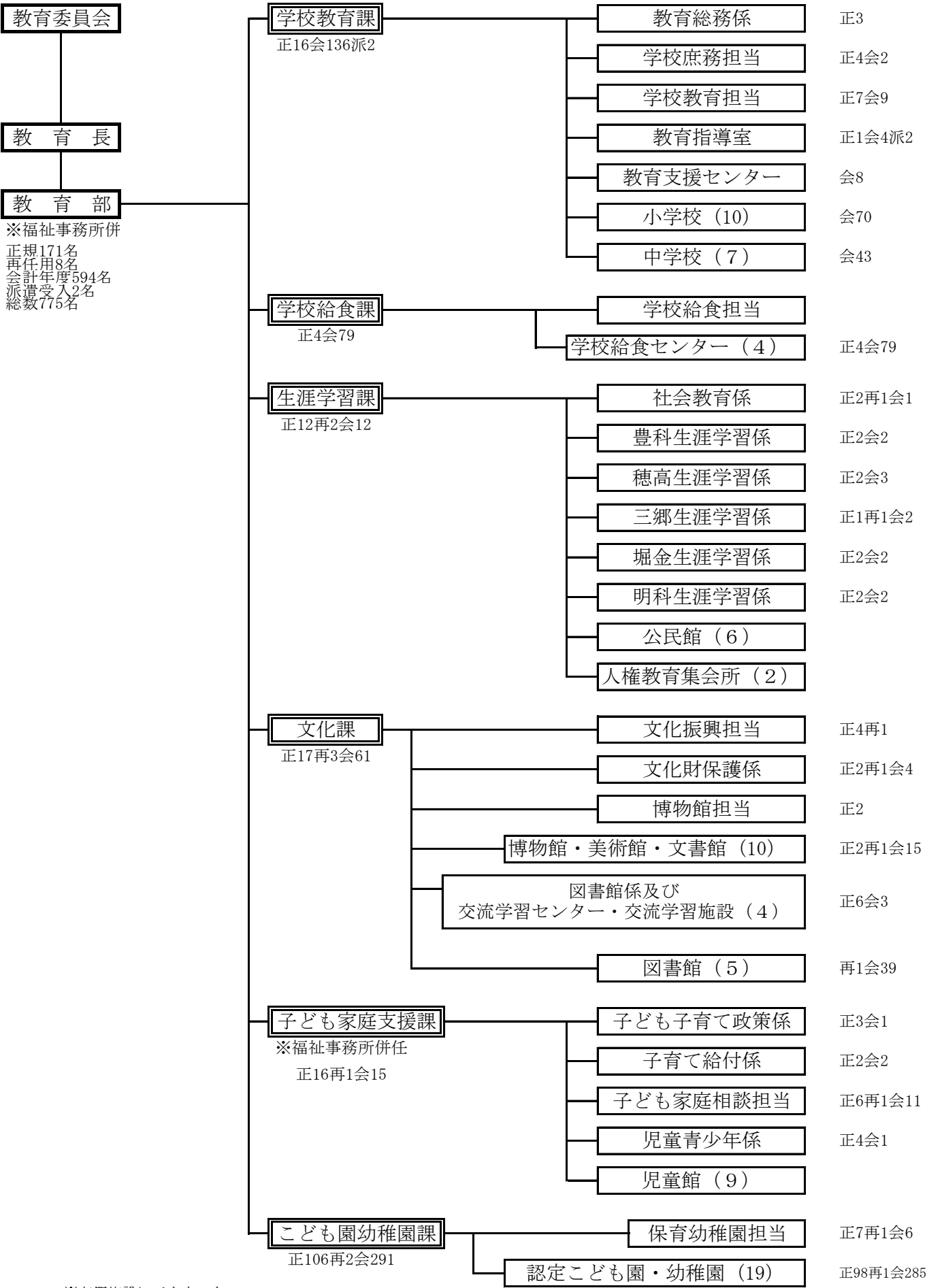
(令和4年4月)



4 教育委員会事務局の組織

令和6年4月1日現在

正規:再任用:会計年度:派遣受入



※在籍施設にてカウント

5 教育委員会事務局の仕事と担当課

学校教育課

- (1) 教育委員会の会議に関すること。
- (2) 教育委員会の条例、規則、規程等の制定及び改廃に関すること。
- (3) 教育委員会に対する請願及び陳情に関すること。
- (4) 事務局及び学校その他の教育機関等の職員(県費負担職員を除く。)の任免、給与及び服務等に関すること。
- (5) 県費負担教職員の任免、給与、服務及び福利厚生に関すること。
- (6) 公印の管理に関すること。
- (7) 文書の収受、発送、整理、保管に関すること。
- (8) 学校教育の振興に関すること。
- (9) 就学、入学、転退学に関すること。
- (10) 学校保健に関すること。
- (11) 通学区域、通学路及びスクールバスに関すること。
- (12) 就学援助、就学奨励その他育英奨学に関すること。
- (13) 教育用図書の配布に関すること。
- (14) 教育施設の維持管理に関すること。
- (15) 部内の予算、実施計画の調整に関すること。
- (16) 部内の事務事業の進行管理及び管理改善の調整に関すること。
- (17) 部内の企画調整及び庶務に関すること。
- (18) 学校教育の基本方針に関すること。
- (19) 教育課程に関すること。
- (20) 学校運営に関すること。
- (21) 特別支援教育に関すること。
- (22) その他部内の他課に属さないこと。

学校給食課

- (1) 学校給食の運営に関すること。
- (2) 学校給食施設の維持管理に関すること。
- (3) 学校給食費に関すること。

生涯学習課

- (1) 社会教育事業に関すること。
- (2) 生涯学習推進に関すること。
- (3) 成人式運営に関すること。
- (4) 公民館事業に関すること。
- (5) 安曇野市地区公民館活動補助金交付規則(平成27年安曇野市規則第23号)第2条に規定する地区公民館支援に関すること。
- (6) 人権教育に関すること。
- (7) 公民館施設の管理運営に関すること。

- (8) 公民館講座等の開催に関すること。
- (9) 公民館体育大会に関すること。
- (10) 文化祭開催に関すること。
- (11) 地域づくり事業等の支援に関すること。
- (12) 学校施設使用に関すること。
- (13) その他、地域の社会教育推進に関すること。

文化課

- (1) 文化振興計画の策定及び進捗管理に関すること。
- (2) 文化芸術の振興に関すること。
- (3) 文化財の保護、保存及び活用に関すること。
- (4) 市誌編纂に関すること。
- (5) 歴史的価値のある公文書に関すること。
- (6) 図書館基本計画策定及び進捗管理に関すること。
- (7) 図書館活動の企画及び調査に関すること。
- (8) 関連団体との連絡調整に関すること。
- (9) 所管する附属施設に関すること。
- (10) 新市立博物館建設に関すること。
- (11) 資料等の保存及び活用に関すること。

子ども家庭支援課

- (1) 子どもに関する施策の調査研究及び総合調整に関すること。
- (2) 子ども・子育て支援事業計画及び会議に関すること。
- (3) 児童館の管理運営に関すること。
- (4) 児童クラブに関すること。
- (5) 児童手当・児童扶養手当等に関すること。
- (6) 児童遊園に関すること。
- (7) ファミリー・サポート・センター事業に関すること。
- (8) ひとり親家庭の支援に関すること（相談に関するものを除く。）
- (9) 児童福祉施設の整備等に関すること。
- (10) 教育相談に関すること。
- (11) 子ども及び若者育成支援に関すること。
- (12) 家庭教育支援に関すること。
- (13) 青少年育成に関すること。
- (14) 放課後子ども総合プランに関すること。
- (15) 所管する附属施設に関すること。

こども園幼稚園課

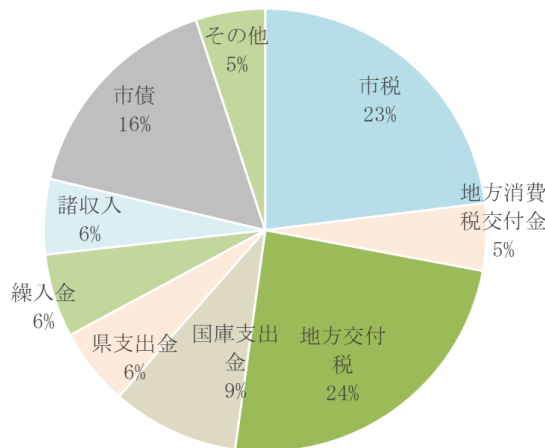
- (1) 幼児期の教育・保育に関すること。
- (2) 公立認定こども園の管理・運営に関すること。
- (3) 穂高幼稚園の管理・運営に関すること。
- (4) 民間保育所及び幼稚園に関すること。
- (5) 保育関係団体に関すること。
- (6) 所管する附属施設に関すること。

その他 参考例規

- (1) 安曇野市教育委員会に対する事務委任規則 (令和4年安曇野市規則第8号)
- (2) 市長の権限に属する事務の補助執行に関する規程 (平成18年安曇野市訓令第14号)
- (3) 安曇野市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規程 (平成20年安曇野市教育委員会訓令第4号)

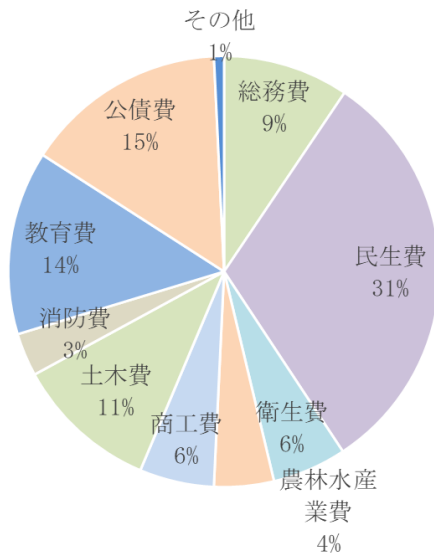
6 一般会計予算 (令和6年度当初)

(1) 歳入予算総額 48,930,000千円



市税	11,275,956 千円
地方消費税交付金	2,400,000 千円
地方交付税	11,860,000 千円
国庫支出金	4,551,383 千円
県支出金	2,773,522 千円
繰入金	2,974,985 千円
諸収入	2,684,660 千円
市債	7,926,500 千円
その他	2,482,994 千円

(2) 歳出予算総額 48,930,000千円



総務費	4,612,784 千円
民生費	15,309,727 千円
衛生費	2,721,812 千円
農林水産業費	2,189,547 千円
商工費	2,737,132 千円
土木費	5,248,897 千円
消防費	1,580,046 千円
教育費	6,749,360 千円
公債費	7,412,605 千円
その他	368,090 千円

7 教育関係予算

(単位：千円)

項	目	令和5年度		令和6年度		比較増減	令和6年度の財源内訳	
			構成比		構成比		特定財源	一般財源
1	教育総務費	1,699,020	37.6%	2,181,669	32.3%	482,649	875,905	1,305,764
	1 教育委員会費	5,919		11,086		5,167	0	11,086
	2 事務局費	651,302		760,875		109,573	66,135	694,740
	3 住宅管理費	4,236		5,462		1,226	3,699	1,763
	4 給食センター費	1,037,563		1,404,246		366,683	806,071	598,175
2	小学校費	535,189	11.8%	1,199,973	17.8%	664,784	651,987	547,986
	1 学校管理費	312,130		400,785		88,655	1,644	399,141
	2 教育振興費	131,515		103,225		△ 28,290	4,305	98,920
	3 学校施設整備費	91,544		695,963		604,419	646,038	49,925
3	中学校費	355,162	7.9%	418,724	6.2%	63,562	6,640	412,084
	1 学校管理費	204,467		254,068		49,601	1,373	252,695
	2 教育振興費	105,246		117,244		11,998	5,267	111,977
	3 学校施設整備費	45,449		47,412		1,963	0	47,412
4	幼稚園費	84,250	1.9%	108,178	1.6%	23,928	3,853	104,325
	1 幼稚園費	84,250		108,178		23,928	3,853	104,325
5	社会教育費	1,072,740	23.7%	2,497,683	37.0%	1,424,943	1,474,641	1,023,042
	1 社会教育総務費	583,067		1,431,507		848,440	856,178	575,329
	2 文化財保護費	60,520		82,274		21,754	24,804	57,470
	3 人権教育推進費	3,064		3,053		△ 11	82	2,971
	4 青少年健全育成費	93,343		106,652		13,309	68,023	38,629
	5 公民館費	172,411		686,758		514,347	498,684	188,074
	6 図書館費	160,335		187,439		27,104	26,870	160,569
6	保健体育費	774,403	17.1%	343,133	5.1%	431,270	141,974	201,159
	1 保健体育総務費	26,784		30,863		4,079	724	30,139
	2 保健体育施設費	747,619		312,270		△ 435,349	141,250	171,020
合計		4,520,764	100%	6,749,360	100%	2,228,596	3,155,000	3,594,360

8 予算と決算の推移

(単位：千円)

	当初予算額			最終予算額		
年度	一般会計	教育費	対一般会計比 (%)	一般会計	教育費	対一般会計比 (%)
令和2年度	42,180,000	3,055,813	7.2	58,819,539	3,967,494	6.7
令和3年度	41,100,000	3,241,723	7.9	49,182,000	4,144,517	8.4
令和4年度	42,670,000	3,599,385	8.4	49,614,214	5,539,491	11.2
	歳出決算額					
年度	一般会計	教育費	対一般会計比 (%)			
令和2年度	55,408,834	3,835,613	6.9			
令和3年度	48,838,392	3,073,675	6.3			
令和4年度	46,639,766	4,377,724	9.4			